

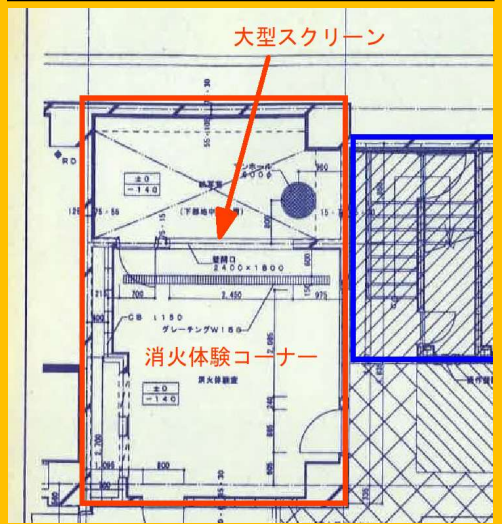
現在、アテンダント要員が行っている受付から退館までの来館者向けガイダンスを、ICTを活用したシステムにより無人化する。

(c) 消火体験コーナー

【新しい展示内容】
以下の内容を、VR、AR又はその他デジタル技術によりバーチャルで体験し学習できるもの。(水、炎及び煙等は使用しない。)

- ①消火器の使用法
取扱方法及び消火要領の説明
- ②初期消火の注意事項
消火薬剤(粉末)が放射され、視界が不良になる様子。
消火器の消火能力及び消火を断念し避難を優先する目安の判断。
- ③火災の発見及び初期消火
火災を発見し初期消火を完了(失敗)するまでの一連の動作

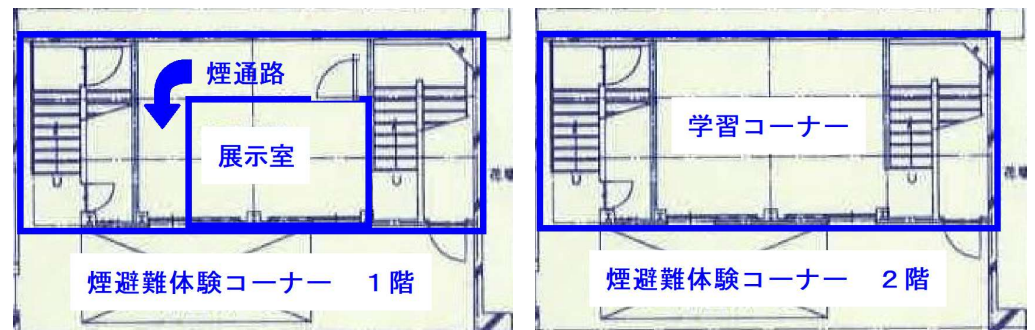
原則として現在のレイアウトを変更しない。



(b) 煙避難体験コーナー

【新しい展示内容】

- < 1階 >
マンションの居室をイメージした展示室で、映像などにより煙中の避難の方法について学んだ後、煙(スモークマシンの煙又はVR等で再現)が充満する廊下(煙通路)を通して避難口まで至る体験ができる。
※避難体験中の来館者の安全確保は、運営業務の係員を配置する。
- < 2階 >
模型、写真パネル、視聴覚教材等により防火・防災について学べるコーナーとする。



見て触れて、体験し学ぼう。



(a) 受付・ガイダンス

次の機能を備えた受付端末を設置する。

<受付機能>

- ①入館時に、来館者の人数、国籍及び年代等を来館者がタッチパネルで入力し、データベースに保存できる。
- ②説明は多言語に対応し、入力されたデータをSDカード等の記録媒体に出力できる。

<ガイダンス機能>

センターの利用方法等を動画で説明し、1階各コーナーについて、係員が付き添わなくてもガイダンス(説明)が受けられる機器等を整備する。